

# 議会だより

平成29年5月

発行・雄武町議会 編集・議会広報特別委員会 ☎ 0158-84-2121 (内線331) ・FAX 0158-88-3162



—— 凍て返る中、花を咲かせるチューリップ・・・(風の丘公園) ——

おもな内容

行政報告	P 2
予算審査特別委員会報告	P 3
一般質問 (3名)	P 4～6
3月定例会審議案件	P 7～9
委員会視察報告	P 10～11
議会日誌・編集あとながき	P 12

# 3月

## 定例町議会

平成29年第2回町議会定例会は、3月7日から17日までの11日間を会期として開催されました。1日目は、町長の行政報告、副町長の行政事務報告、教育長の教育行政報告、平成28年度各会計補正予算、条例改正等を審議、2日目には平成29年度各会計予算・関連議案（条例等）5件を一括上程し、新年度行政執行方針・教育行政執行方針、平成29年度予算大綱が説明され質疑が行われました。休会をはさみ8日目には3名の議員による一般質問の後、予算審査特別委員会が開催され審議が始まりました。10日目には予算審査特別委員長の報告どおり平成29年度各会計予算・関連議案5件を原案可決し、会期を1日残して閉会しました。

### 宗谷本線活性化推進協議会への加入

昨年11月18日、JR北海道は、厳しい経営状況を理由に「当社単独では維持することが困難な線区」として、10路線13区間を発表しました。この中に宗谷本線（旭川―稚内間、全長259・4km）が含まれており、具体的には、宗谷本線のうち名寄―稚内間183・2kmの区間は、輸送密度が低い「単独維持が困難な線区」として利用者の少ない駅の廃止や、運賃値上げ、運行会社と施設保有会社とに分ける上下分離方式などについて、JR側から提案されており、また、旭川―名寄間76・2kmの区間については、「単独で維持可能な線区」とされつつも「営業損失を抱え、安全な鉄道サービスを維持する費用を確保できない線区」との考えが付されています。こ



### 行政報告

#### 中川原町長

れに加えて、昨年12月16日に発表された、本年3月4日のダイヤ改正において、宗谷本線関係では、稚内―札幌間の特急一日三往復のうち二往復が旭川で打ち切りとなり、札幌直行は一日一往復のみという大変不便な状況になっています。以上のような状況を踏まえ、宗谷本線の維持活性化は、雄武町民の重要な政策課題に位置付けられ、平成29年度から「宗谷本線活性化推進協議会」に加入すべく、さる平成29年2月3日付けで私と協議会議長連名の加入届を協議会会長であります名寄市長へ提出いたしましたので、ご報告をいたします。

### 汚水処理施設共同整備事業（MICS）

汚水処理施設共同整備事業の進捗状況であります。し尿処理施設整備事業（通称M-

C事業）につきましては、構成町村となります雄武町、興部町、西興部村の副町長と財政、環境衛生、下水道の担当課長以下職員を一同に集め、2月17日に協議をおこないました。内容といたしましては、整備する施設の概要説明と施設規模決定に関する意見調整、具体的には整備施設の内容と施設規模決定の基礎となる将来人口フレームの捉え方の共通理解を得るための調整をおこない、今後の事業スケジュールや概算事業費等を説明した上で、本町が考える施設整備に係る、構成町村における負担金とその算定方法について説明し、施設規模決定に関する意見調整は共通の理解をいただき、負担金及び、負担金の算定方法は現在、各町村と調整中であり、また、なお、この協議によりまして施設規模に関する共通理解が得られましたので、北海道との正式な協議が可能となり、2月27日に本町下水道所管課におきまして北海道との協議を開始したところであります。

# 平成29年度

## 予算審査特別委員会

### 委員長報告（要約）

平成29年度予算議案9件、並びに予算関連議案5件について、予算審査特別委員会における審査結果を報告いたします。

審査結果につきましては、一般会計55億3300万円、特別会計と企業会計の30億6371万8千円を合わせた総額85億9671万8千円、並びに予算関連議案5件についての審査を終了し、採決の結果、平成29年度の9会計予算及び予算に関連する議案5件の計14件については「原案可決すべきもの」と決定した次第であります。

#### 審査意見

##### ①水産加工工業雇用維持対策事業の有効な推進について

今まで雄武町では、基幹産業である水産業の振興に力を注いできたものであり、中でも主要魚種であるホタテ貝の安定供給や増産のために各種支援を継続してきたところで

あるが、未だ低気圧被害による減産から回復するには至っておらず、平成29年度においても雇用維持対策事業を継続することとなった。については、この事業を有効かつ有意義なものにするためにも、関係する産業団体各所の協力を含め、町が強いリーダーシップを発揮することを望むものです。

##### ②国保病院の常勤内科医師の早期確保について

国保病院の患者数が入院、外来ともに減少し経営を圧迫しているが、これを解消するため一つの手立てとして常勤内科医師の確保が急務であると思われる。関係各所の協力、支援を頂き早急に確保されるよう努められたい。

平成29年3月16日

予算審査特別委員会

委員長 長野 誠

## 平成29年度各会計予算の総括

（単位：千円・％）

区 分	平成29年度 当初予算額	平成28年度 当初予算額	比 較	
			増減額	増減率
一 般 会 計	5,533,000	5,592,000	△ 59,000	△ 1.1
国民健康保険事業特別会計	763,631	784,091	△ 20,460	△ 2.6
簡易水道事業特別会計	348,094	362,835	△ 14,741	△ 4.1
公共下水道事業特別会計	392,678	412,245	△ 19,567	△ 4.7
介護保険事業特別会計	449,066	445,317	3,749	0.8
介護サービス事業特別会計	63,171	71,428	△ 8,257	△ 11.6
後期高齢者医療事業特別会計	69,790	65,414	4,376	6.7
介護老人保健施設事業特別会計	142,468	124,663	17,805	14.3
国民健康保険病院事業会計	834,820	870,589	△ 35,769	△ 4.1
合 計	8,596,718	8,728,582	△ 131,864	△ 1.5

※ 企業会計の額は、収益的支出と資本的支出の合計額

# 一般質問



嶋村議員

嶋村議員 小中一貫校設立に向けた、中学校校舎大規模改修を  
豊田教育長 将来目指す学校教育のあり方として、検討すべき

## 公共牧場の草地整備を

問 町の三つの公共牧場の草地面積と町全体の草地面積に占める比率は。

横田産業振興課長 幌内大規模草地687ha、北雄武公共牧場380ha、町宮牧野258haで計1,325haで全草地面積の16%です。

問 牧場の整備事業が30から40年行われていないようだが草地の生産量を維持するには、何年くらいで草地改良するのが妥当と考えるか。

横田産業振興課長 8から10年と考えます。

問 酪農家の育成牛を預託され牛乳生産を支援する重要な施設にもかかわらず、酪農家の草地整備に比べると置き去りにされているが。

中川原町長 3牧場とも相

当年数整備がなされず、牧草の収穫量が減少している状況は認識しています。アグリファームでは、最近、

預託頭数が施設規模の上限となり牧草収穫量では不足が生じる状況です。今後、町内の協業化法人も増え預託頭数も増加しますので、草地整備は重要と認識しています。

問 公共牧場の整備事業の補助残1億7,800万円をアグリファームに負担させていますが、指定管理先に負担させるのはおかしいと思うがそういった例はあるのか。

中川原町長 指定管理しているホテル日の出岬、雄愛園でもありません。

問 公共牧場の整備事業で指定管理者に費用負担させている例は聞いたことありません。

中川原町長 今後の整備事

業の費用負担については町とアグリファームで協議します。

## 小学校の統合と小中一貫校の設立は

問 新教育長の小学校の統合への考えは。

豊田教育長 児童数の減少を考えるといずれ学校運営に支障が出ると思います。結論を出すには時間がかかると思いますが、必要な情報を提供しながら地域と一緒に話をしてみたい。

中川原町長 学校の統廃合は行政が一方的に進めるものでなく、地域主導で地域の思いを尊重、優先することが大事であると考えます。

問 小規模校は教育上多くの問題点がある。二〇二〇年より学習指導要領が改定され小学校から英語教育等

の取組みが予定されA・L・T外部講師の必要性が増すが、4校では非効率では。

豊田教育長 今後、A・L・Tについては複数化を図っていきたいと考えています。

問 町は中学校の大規模改修計画を進めておりますが、平成28年度から小中一貫教育を実践する義務教育学校を創設出来るようになり、雄武町全体で児童生徒合わせて300人に満たない現状で、過疎地の小学校中学校は9年間一貫した教育が必要で、雄武町独自の特色ある教育が十分可能だと思えます。小中一貫校設立に向けた中学校校舎の大規模改修を考えてはどうか。

豊田教育長 小学校と中学校が別々の組織として設置されておりませんが、それに起因する様々な課題が一貫校によって解消される。義務教育9年間に責任を持つて教育活動を行う非常に有効なものと認識しており、将来、目指す学校教育のあり方として是非検討すべきではないかと思えます。



花田 議員

**介護職員の待遇改善**

**問** 昨年の決算委員会で意見を付した雄愛園と、はまなすの介護職員で正職員と臨時職員の賃金を含め待遇改善をどのように改善するのか。

**中川原町長** 同一労働同一賃金ではなくて業務量や責任度の違いによって待遇面が異なるものです。

**問** 全国的に介護職員が不足している中で、同一職業で待遇等で差があるのは将来、介護職員が不足し受入が出来なくなる可能性があり、出来る限り同一労働同一待遇になるよう努力して頂きたい。

**中川原町長** 職員の定数条例の関係もあり、また、行政改革等、クリアしなければならぬ問題もあり鋭意

努力して正職員化に向け前に向きに考えたい。

**雄武高校の今後は**

**問** 道教育委員会は雄武高校のキャンパス校化の方針を提示されました。現在の生徒数が維持出来ないと思われ廃校になるのではと思われれます。存続に対する心構えを伺います。

**豊田教育長** 道教委における公立高等学校配置の考え方には、一つは高校進学希望数に見合う定員の確保、二つは教育水準の維持向上及び、教育の機会均等を図る、三つは地域の実情を考慮する。3学級以下の高校については原則廃止するという指針が出され、その生き残る手段として地域キャンパス校があるのです。  
**問** キャンパス校になって

も生徒数が減少するようであれば将来的に廃校になるおそれがあり、雄武高校存続のために努力しなければならぬが、昨年今年と興部高校へ多数進学されたと聞きました。他町村の高校進学に対する支援、助成等と差が生じているのではな

いか。  
**豊田教育長** キャンパス校の生徒数がどこまで許されるかといえば、基準として1学級20名を切った場合、再び存続について道教委は考え直すということになっていますが、人数要件については緩和する考えもあるようです。また、他町村の生徒に対する支援助成金は3年間では遜色ありません。今後の雄武高校の在り方については高校と町教委で話し合い、魅力ある高校づくりになが出来るか積極

**漁業栽培センター誘致を**

**問** 将来の本町漁業振興のために道の漁業栽培センターを誘致してはどうか。獲得の漁業から、つくり育てる漁業の中で北海道の日本海、太平洋に栽培センターがあります。オホーツク海にありません。是非、本町に誘致しナマコ、ウニの増殖漁業の一助にしてはどうか。

**中川原町長** 現在、雄武漁協が行っているナマコ増殖事業には引き続き支援する必要があると思います。ナマコの試験調査等を行い、各関係機関、団体と連携し本町への誘致に向けて行動して参りたいと思っております。

花田議員 雄武高校存続に対する心構えは  
豊田教育長 魅力ある高校づくりに積極的に支援する



福原議員

福原議員 高校への給食提供も可能では  
豊田教育長 学校づくりについて話し合う中で、考えを聞いてみたい

**就学援助について**

問 国は要保護世帯の就学

援助のうち小学校と中学校への入学準備に必要な、ランドセルや制服などの購入費を倍増しました。これに準じて、雄武町が行っている準要保護世帯に対する入学準備の就学援助をどうするか伺います。

豊田教育長 本町の準要保護世帯に対する援助単価も、国の予算単価を最高限度として、引き上げます。

問 この就学援助の支給時期は6月頃ですが、入学準備の時期に支給することが必要ですし、実際に支給している自治体もあります。

豊田教育長 前年度所得が確定する関係で、制度上無理だと思っていたのですが、入学準備時期に支給し

ている自治体もあるということなので、調査し検討させていただきます。

**高校への給食提供について**

問 雄武町は、29年度から

学校給食全額補助を実施し、子育て支援に貢献する英断だと思えます。新給食センター建築の際、50食に対応できるとの説明があり、高校の給食提供も可能ではと思えますが。

澤田教育振興課長 給食セ

ンターは学校施設環境改善交付金を充当し、この基準は50食以下が下限のため50食と説明し、実際は40食程度でしたので、衛生管理基準を満たすため通路幅や調理器具の配置等を実数に合わせて実施設計していますので、高校給食を視野に入

れるとした場合、設備の増配置等で衛生管理基準をクリアできないのではと考えております。

豊田教育長 高校の給食提供については、衛生管理等のこともありますので、今後学校づくりについて話し合う中で、考えを聞いてみたいと思えます。

**幌内小学校の活用について**

問 旧幌内小学校校舎の活

用について伺います。  
中川原町長 地域の方々、部内協議の中でも活用方法を検討しておりますが、見せせない状況にあります。

問 今まで何度も、高齢者施設の建設について質問をしてきましたが、この度、小規模多機能で地域密着型の高齢者施設を視察に行っ

てきました。これは特養、グループホーム、デイサービス、シヨートステイや地域の交流の場を併せ持つ施設で看護師の配置も特養と契約したら必要ないなど要件緩和もあります。サービスの種類や規模など地域の条件によって選ぶことが出来ます。元小学校校舎と考えれば、検討するに値すると思うのですが。

中川原町長 校舎の改修は、多額の経費がかかるということを建築担当から聞いています。高齢者施設の要望も出ていますが、入所に多額の料金がかかりますし、介護保険料の値上げも必要となることを、説明しています。旧幌内小学校の高齢者施設への転用は、現段階では計画はありません。

こんなことが決まりました

# 3月定例町議会

## 条例制定

《原案可決》

●中小企業等融資あっせん  
条例の制定

中小企業等融資あっせん  
条例の失効に伴い、新たに  
制定。

## 条例改正

《原案可決》

●個人情報保護条例等の一  
部改正

行政手続における特定の  
個人を識別するための番号  
の利用等に関する法律の改  
正に伴うもの。

●税賦課徴収条例等の一部  
改正

地方税法及び地方交付税  
法の一部改正に伴うもの。

●財政調整基金条例の一部  
改正

財政調整基金をより柔軟  
に処分できるようにするた  
めの改正。

●水産基盤整備事業分担金  
徴収条例の一部改正

漁港漁場整備事業につい  
て、分担金徴収の適用に加  
えるための改正。

●公共下水道設置条例の一  
部改正

計画人口変更に伴う改  
正。

## その他

《原案可決》

●過疎地域自立促進市町村  
計画の一部変更

新たに事業の追加及び削  
除が必要となり知事との協  
議が整ったため。

●新たに生じた土地の確認  
(埋立区域1)

●町の字の区域の変更  
(埋立区域1)

雄武漁港区域内の公有水  
面埋立によるもの。

字雄武1865番、10  
02番1、977番1、1  
001番1、1001番5、  
1000番1、994番、  
993番、992番1、9  
90番、989番1、98  
8番、985番、981番  
1、984番、787番地  
先の公有水面の埋立地  
面積 41、522・14㎡  
字の区域 雄武町字雄武

●町道の終点変更  
元沢木海岸線

●新たに生じた土地の確認  
(埋立区域2)

●町の字の区域の変更  
(埋立区域2)

●選任同意を求める者  
置戸町字北光50番地の133

●新たに生じた土地の確認  
(埋立区域2)

雄武漁港区域内の公有水  
面埋立によるもの。  
字雄武1001番1、1  
001番5、1000番1、

オホーツク町村公  
平委員の選任

《原案同意》

●選任同意を求める者  
置戸町字北光50番地の133

田村昌文氏

## 議会を傍聴してみませんか？

定例会は3、6、9、12月の年4回行われます。

傍聴の際は傍聴人名簿に記入するだけでけっこうです。

詳しくは、新聞折込チラシまたは議会事務局まで！

電話 84-2121 (内線331)

# 平成 28 年度補正予算

## 一般会計

4億4195万8千円を追加し、予算の総額を71億8529万2千円とした。

### 【主な内容】

◇議会費 △130万4千円

・費用弁償の減ほか

◇総務費 1070万4千円

・防犯灯LED化整備工事費（繰越明許分）の増ほか

◇民生費 1070万2千円

・児童センター外部改修工事費（繰越明許分）の増ほか

◇衛生費 6714万3千円

・国民健康保険病院事業会計繰出金の増ほか

◇労働費 △4万2千円

・西紋別地域通年雇用促進支援協議会負担金の減

◇農林水産業費 3億8210万3千円

・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（施設整備事業）補助金の増ほか

◇商工費 △2千円

・中小企業等振興助成金の減ほか

◇土木費 △1481万2千円

・道路舗装改修工事費の減ほか

◇消防費 △442万3千円

・紋別地区消防組合負担金単独分の減ほか

◇教育費 △617万7千円

・臨時職員賃金の減ほか

◇公債費 △193万4千円

・長期債償還利子の減ほか

## 国民健康保険事業特別会計

862万6千円を減額し、予算の総額を8億477万1千円とした。

【主な内容】保険財政共同安定化事業拠出金の減ほか

## 簡易水道事業特別会計

504万6千円を減額し、予算の総額を3億4123万3千円とした。

【主な内容】光熱水費の減ほか

## 公共下水道事業特別会計

336万円を減額し、予算の総額を3億8080万6千円とした。

【主な内容】公共下水道整備工事費の減ほか

## 介護保険事業特別会計

433万2千円を減額し、予算の総額を4億4163万円とした。

【主な内容】施設介護サービス給付費の減ほか

## 介護サービス事業特別会計

131万5千円を減額し、予算の総額を7041万2千円とした。

【主な内容】特別養護老人ホーム介護用ベッド購入費の減ほか

## 後期高齢者医療事業特別会計

59万5千円を追加し、予算の総額を6600万9千円とした。

【主な内容】保険料等負担金（保険料その他納付金分）の増ほか

## 介護老人保健施設事業特別会計

823万1千円を減額し、予算の総額を1億2410万3千円とした。

【主な内容】臨時職員、パート職員賃金の減ほか

## 国民健康保険病院事業会計

1087万円を減額し、予算の総額を7億1757万2千円とした。

【主な内容】医業費用の減ほか



# 皆様の声をお聞かせ下さい！

議会広報特別委員会では「議会だより」をよりよい誌面にしていくために、皆様からのご意見・ご要望をお待ちしております。

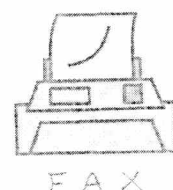
例えば「もっと内容を詳しく」「このことは載せなくてもいい」などどのようなことでも構いませんので、お気軽にご意見をお寄せ下さい。

## ◎郵送による方法

〒098-1792 雄武町字雄武700番地 雄武町議会事務局あて

## ◎FAXによる方法

0158-88-3162（議会事務局直通）まで



## ◎電子メールによる方法

gikai@town.oumu.hokkaido.jp まで



## ◎ご意見箱による方法

議会開催中、3階議場の入口に「ご意見箱」を設置します。

傍聴の際の休憩中などにぜひご利用ください。

## ◎直接お持ちいただく方法

役場内議会事務局まで直接ご意見をお寄せ下さい。

なお、事務局は3階にあります。

階段の利用が難しい方は1階の窓口へお知らせください。

## ◆議会ホームページのコンテンツ追加（雄武町ホームページから「雄武町議会」へ）

今までの議会議事録検索に加え、議長挨拶、議員紹介、議会構成、議会日程、議会の役割、議会の仕事、議会の運営、請願・陳情の手続き、議会の傍聴、議会だよりを追加掲載しました。

# — 委員会レポート —

雄武町議会には「総務文教常任委員会」と「産業厚生常任委員会」とがあります。各委員会は、その部門に属する審査を専門的に行い、その経過と結果を本会議に報告する役目を担います。今回は、産業厚生常任委員会が行った町内視察の報告を掲載いたします。

## 産業厚生常任委員会町内視察

▼日 程 平成28年12月28日(水)  
▼視察項目 雄武水産加工業協同組合役員との懇談

平成28年度2回目の産業厚生常任委員会町内視察では雄武水産加工業協同組合役員との懇談を所管担当課等の協力を得て実施したところであり

ます。量が9,000トンと発表され、3年目も復旧には至らなかったと考えている。これまでのホタテ貝の漁獲量は平成27年度8,200トン、28年度5,300トンと

低く推移している。

### 雄武水産加工業協同組合役員との懇談

雄武水産加工業協同組合から現状の報告と要望を受け、懇談をしたものです。

### ◎現状の報告

平成26年12月の低気圧被害によりホタテ貝が大幅に減産になり、これに対し雇用の維持が保たれなくなる加工業者に2か年にわたり、町から多大な支援を頂いた。

当初は、平成29年度の操業漁場となる魚田沖へ稚貝の足し撒きを行ったため、平成27年度、28年度の2か年の支援で、この難局を乗り越えられ

ると考えていたが、雄武漁協から来年度のホタテ貝の水揚げ量が9,000トンと発表され、3年目も復旧には至らなかったと考えている。これまでのホタテ貝の漁獲量は平成27年度8,200トン、28年度5,300トンと低く推移している。

特に今年はサケやイカも不漁となり、原料価格の高騰で採算ベースが合わなく加工できなかつた組合員や、毎年の注文があるため赤字となつても出荷しなければならぬ組合員、また、冬場の閑散期に加工する原料が無く、工場を稼働することができない組合員もいた。

加工業者は2年続けて赤字決算となり、経営の疲弊がピークを迎えている。昨年まで20社あつた組合員も、今年は17社となつている。

### ◎町への要望事項

漁協へは今年同様の荷割を要望したところであるが、町にはこれまでの算出基準を減額してでも、もう1年だけ雇用維持に対する支援を延長してもらいたい。従業員一人あたり5万円を3万円に減額し、パートについてはその半額の1万5千円を6か月間補助してもらい、雇用維持を図りたい。

水産廃棄物処理施設についても多額の補助金を頂き経営してきたが、今年になってホタテのミミを製品加工したことにより、ウロだけを処理する



◎懇談内容

《質疑》

問) 従業員一人あたり3万円にする根拠は。

答) 加工協、今年の水揚げが5,300トンで、来年が9,000トンということ

で若干多くなるため、この比率で計算したものの。

問) 支援するのであれば、町にも経済効果が出るような形にできないか。経営者から従業員に対して、地元

の鉄工場を使うようにはしている。

問) 資料を見ると、ここ15年で工場数、従業員数、売上額ともほぼ半減している。今後はホタテの加工にしても衛生基準が厳しくなり、小規模の業者では新たな設備投資も難しいと思う。長期的に見て雄武町の水産をどういうスタイルにするか、構造改善

策を加工協全体で検討する時期ではないかと思う。

答) 加工協、大きな企業で減ったのが要因。小規模のところでは大きな変動はない。

問) 加工協だけが漁協にお願

問) 加工協、町長が漁協にも2年間、町長が漁協に出向きお願いをしている。また要望することは考えられる。

問) 加工協、今回の支援は低気圧被害によるものであり、去年と今年、支援していた

問) 自然が相手のことなので予想がつかない。来年度は9,000トンの水揚げ

を見込んでいるが、もっと少ないことも考えられるので、知恵を出し合っ

答) 加工協、近い将来、ホタテ資源が回復するだろう

《産業振興課》  
一般の加工場は外国人研修生を含めて40人以上の雇用がある

《委員会意見》  
水産廃棄物を将来的に安定して処理する

◎視察所感

水産加工業は雇用者が多く、雄武町の経済にとって重要な産業であり、その維持を図ることが急務である

《所管事項》  
住民生活課、保健福祉課、地域包括支援センター、児童センター、保育所、産業振興課、建設水道課、町有施設整備室、特別養護老人ホーム及びデイサービスセンターに関する事項、農業委員会に関する事項。

◎各常任委員会の委員及び所管事項について

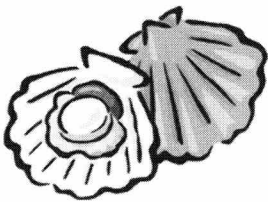
▼総務文教常任委員会

委員長 舘山  
副委員長 福原  
委員 長野、嶋村、石井、溝田

《所管事項》  
総務課、財務企画課、税財管理課、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、固定資産評価審査委員会、国民健康保険病院・介護老人保健施設に関する事項、監査委員所管に関する事項及び産業厚生常任委員会に属さない事項。

▼産業厚生常任委員会

委員長 村上  
副委員長 高野  
委員 花田、嶋村、石井、溝田



《平成28年》

12月

- 14～15日 第7回定例会開催  
 24日 龍神講感謝祭出席、議長  
 28日 産業厚生常任委員会町内視察（雄武水産加工業協同組合役員との懇談）  
 雄武消防団歳末特別警戒督励式出席、議長

《平成29年》

1月

- 1日 平成29年雄武神社元旦祭出席、議長  
 4日 平成29年雄武消防団出初式出席、議長外6名  
 6日 平成29年雄武町新年交礼会出席、議長外7名  
 平成29年雄武水産加工業協同組合・雄武鮮魚仲買人組合合同新年交礼会出席、議長  
 8日 平成29年雄武町成人式出席、議長外1名  
 23日 全員協議会開催  
 24日 議会広報特別委員会開催  
 第2師団長 高田陸将を囲む会（遠軽町）出席、議長  
 31日 議会運営委員会開催  
 第1回臨時会開催

2月

- 4日 平成28年度武雄市児童交流事業に伴う雄武町歓迎会出席、議長外2名  
 平成28年度武雄市児童交流事業に伴う引率者との懇親会出席、議長  
 9～10日 オホーツク町村議会議長会定期総会（滝上町）出席、議長  
 14日 議会懇談会（教育委員会ほか）  
 15日 雄武高等学校存続に向けた地域キャンパス校説明会出席、議長外1名  
 17日 興部地区警察官友の会総会・懇親会（興部町）出席、議長  
 21日 全員協議会開催  
 24日 雄武町森林組合第64回通常総会・懇親会出席、議長

3月

- 1日 雄武高等学校卒業証書授与式出席、館山議員外3名  
 オホーツク圏活性化期成会第2回JR問題に係る意見交換会（北見市）出席  
 議長  
 2日 議会運営委員会開催

編集あとがき

「風に立て」雄武高校の校訓より。

・風のように速く立ち上がれ。

・疾風の如く志を立てよ。

・教えに自らを築け。

・導きに自己を確立せよ。

・動きに構えよ。

・勢いを起こせ。

・気立てをしつかりと決めよ。

・威風定まる。

この春、高校を卒業しそれぞれの道に進んだ子供達。もう子供ではないですね。大人として羽ばたいて行きました。町に高校がある。母校がある。雄武に帰って来た日、学校がある。

私の卒業した幌内小学校は一昨年、閉校しました。何事も、無くなってしまう、淋しさ、悔やむ事、もっとしてあげられなかったか。前へ進みましよう。「風に立て」。

議会広報特別委員

溝田 昌志